

## 東北地方太平洋沖地震及び福島原発事故に伴う被災透析患者への支援

震災・原発事故により透析医療の確保が困難になったため、福島県内の被災地から都内に集団で避難してきた通院透析患者について、都区部透析医会災害情報ネットワーク（以下NW）、日本医師会及び東京都医師会からの要請をうけ、東京都が緊急避難的に宿所等を確保し、NWが医療を支援した。

医療機関のライフライン復旧に伴い、原発避難圏内の医療機関の患者を除くすべての通院患者がいわき市に、また、原発避難圏内の医療機関の患者は千葉県内の2箇所の医療機関で治療するため、4月3日に全員が宿所を引き払った。

### 記

#### (1) 支援内容

- 宿の確保
- 食事の提供
- タクシーの配車
- 看護学校ボランティアの派遣
- 都営住宅のあっせん
- 衛生用品・衣服等の配布

#### (2) 患者等人数（合計399人）

- 通院患者            326人
- 入院患者            48人
- 付添い家族        25人

#### (3) 宿泊先

- オリンピックセンター（3月17日～3月24日）
- 日本青年館（3月17日～4月3日）
- 国際交流センター（JICA）（3月22日～4月3日）
- ニューシティホテル（3月24日～4月3日）